## 交換留学報告書

派遣先		
三重大学での所属学部・研究科	教育学部 初等英語	
学年(出発時)	4年	
大学名	University of North Carolina at Wilmingotn	
国	The United States	
留学期間	2021年8月15日~2022年5月10日	
派遣先での身分	国際交換留学生	

日の生活スケジュール L	記入欄	
8:00		
9:00		
10:00		
	授業	
11:00	1×~	
11.00	授業	
12:00	[ <b>汉</b> 木	
12:00	昼食	
40.00	<b>但</b> 及	
13:00		
14:00		
	授業	
15:00		
	授業	
16:00		
	図書館で自習	
17:00		
18:00		
19:00		
	夕食	
20:00		
20.00	部活	
21:00	HP/H	
- 1.00		
22:00		
22:00	帰宅	
22.00	· · · –	
23:00		
1		

履修科目				
科目名	時間数/週	履修単位	使用言語	授業内容(レポート、試験、授業形態等)
Reading and Writing Arguments	2.5時間	3	英語	レクチャー レポート(3回) 対面
Introduction to Professional Writing	2.5時間	3	英語	レクチャー オンラインで毎回ミニ課題 +ライティングレポート ハイブリッド
Introduction to English Language	2.5時間	3	英語	レクチャー レポート+オンライン試験 オンラインから対面へ以降
English as a Seond Language	2.5時間	3	英語	レクチャー レポート+試験+プレゼン 対面
Introduction to Linguistis with a Global Emphasis	2.5時間	3	英語	ディスカッション レポート オンライン
Essay Writing	2.5時間	3	英語	レクチャー レポート 対面
History of the English Language	2.5時間	3	英語	レクチャー レポート プレゼンデーション 対面
Topics in Linguistis	2.5時間	3	英語	レクチャー レポート 対面
	_	_	_	

大学のサポート	
チューターの有無	有
チューターのサポート内容	ライティングの添削。買い出しのために車を出してくれた。 秋休みのような少し長めの休みには一緒に出かけたり実家に泊まらせてもらった。
語学コースの有無	無
コース名、料金、期間等	

生活	
住居の名前	4人部屋(それぞれの個室+共用部屋)
部屋タイプ	Seahawk Crossing
ルームメイト(国籍)	3人ともアメリカ国籍
室内設備	デスク、椅子、ベッド、クローゼット
共用施設	バスルーム、トイレ、キッチン
インターネット設備	WiFiあり。時々回線が切れたりするが概ね良好。"UNCW WiFi dorm"のように 検索すればWiFiの登録手順が載ったサイトを見つけられる。
大学までの交通手段(交通機関、所要時間)	寮は学内にあり、教室まで徒歩15分
アルバイトの有無	無
アルバイトの内容	

渡航	
Visaの種類	J1 Visa
Visa申請先	大阪
Visa取得にかかった日数	約1週間 (緊急申し込みを使った場合)
Visa取得にかかった費用	約2万円
Visa取得方法、提出書類等	UNCWから送られてくるDS-2019といった必要資料を揃えながら、インターネットでVISA面接の準備を行う。SEVIS費確認書、残高証明書、面接予約確認書などを準備して大阪に向かった。
留学先大学の最寄り空港までの経路	ウィルミントン国際空港(ILM)が最寄りの空港。電車などはないので車を使う。到着時は事前に申し込んでおいた送迎担当者の車に乗り大学まで送ってもらった。
渡航費用	羽田空港からウィルミントン国際空港まで約25万円
ピックアップサービスの有無	有

帰国後	
留年や卒業の遅れの有無	1年留年
有る場合、その理由	交換留学開始が8月で三重大の後期の授業を受けることができず、 卒業に必要な単位は渡航先の大学で取得できないため。
就職活動開始時期	就職活動を行う場合は6月からの予定。
帰国後の進路	就職または海外のカレッジへ進む。

留学にかかった費用	
現地通貨=日本円(約)	1ドル=約127円
保険料(海外旅行保険、国民健康保険等)	約19万円
学費(教科書代や語学コース授業料等)	54万円(2学期分)+2~3万円(教科書代)
寮費	約96万円(2学期分)
光熱費(月額)	寮費に含まれるため寮費以上の支払いはない
食費(月額)	約50万円(2学期分)
その他	旅行費や外食代や普段使い、部活や大会の遠征費など
留学期間中にかかった費用の合計	2学期分で200万~300万円(旅行の頻度で変わる)

## 感想等(※800字以上で語学勉強の成果についての内容も含め、ご記入ください。)

私は2021年の8月から2022年の5月まで、アメリカ合衆国のUniversity of North Carolina at Wilmingtonで交 換留学をしていました。ここでの体験はこれから先一生忘れられないものになりました。まずは勉強につい てですが、私は三重大の教育学部英語科で普段から英語の勉強をしていたため、他の学部の方と比べる と勉学における苦労は少ない方だったと思います。それでも渡航開始時は周りの留学生と比べて自分の 英語のレベルの低さを痛感しました。英語の聞き取りには次第に慣れていきましたが、授業での発言はな かなか大変で、渡航終了が近づいてきてもネイティブの様に流暢に話すことは難しかったです。しかし周り の学生は私の英語をからかうことなく真面目に聴き、質問もしてくれたので、私は英語力の程度に関わら ず、自分の考えを伝えようとする姿勢の大切さを改めて感じました。何回かあったプレゼンテーションもカン ニングペーパーに頼ることなく終えられたことは自信になっています。ライティングはチューターや現地の 友人に相談して添削してもらうなどしていました。リーディングは、後期に分厚い教科書や1回分の課題とし て20ページ以上の資料を読むことも時々あり、以前と比べて明らかに英文を読む速度が上がりました。ま た、私は英語学について卒業論文を書く予定であり、UNCWで取った8つの授業の内3つは英語学に関わ るものでした。その中で私は英語とジェンダーについてのトピックに興味をそそられました。これはGender sensitive languageと呼ばれる問題で、言語における性的差別表現やや言語史に関わることであり、東京 ディズニーランドのパレードの挨拶がLadies and gentlmen, Boys and girlsからHello Everyoneに変わった ように今日で注目され始めていることです。このトピックを今後の卒業論文で取り扱おうと考えています。 勉強以外の生活では、頻繁にバレーボールをしていました。前期はサークルの様な楽しくバレーをしたい 人たちと遊んでいました。後期はUNCWの男子バレーボール部に加入して週3で練習を行い、2月には South Carolinaで開かれた公式大会にチームメイトと一緒に参加して非常に有意義な時間を過ごすことが できました。バレーボールの英語用語も最初は分かりませんでしたが、チームメイトとの練習で徐々に理 解していき、試合でも指示を出したり指示を受けたりするなど成長しました。バレーボール以外の私生活で はチューターを通して知り合った現地の友人や日本語を勉強している学生、他の交換留学生などと遊ぶこ とが多かったです。しかしほとんどの交換留学生は1学期で帰国してしまったため、後期はアメリカ人の友 達や後期からやって来た三重大の学生と一緒に遊ぶことが増えました。現地の友人たちは日本の英語の 授業では習わないような表現をよく話しており、楽しく遊びながら英語力が鍛えられたと思います。留学生 活全体を通すと、基本的に課題の多さに苦労させられていました。前期はほぼ毎日図書館で予習復習を する時間がありましたが、後期はバレー部に参加したために練習や疲れでより苦労して辛い時期もありま した。ですが遊ぶ時間ももちろんあり、そんな時に友人と近くのビーチに行ったりダウンタウンへご飯を食 べに行ったり、バーへお酒を飲みに行ったりなど、留学は辛いことより楽しい思い出の方がたくさんありま す。前期に仲良くなった交換留学生の何人かとは今でも連絡を取っていますし、渡航当初から仲良くしてく れたアメリカ人の友達とは必ずまた会おうと約束しました。アメリカの物価の高さの中のやりくりや寮での 共同生活、いろんな国出身の人と関わり合うことで、自分はよりいっそう成長できたと実感しています。

今後留学する人へのアドバイス
交換留学は費用と準備のための時間がとてもかかります。私の場合は家族がかなり金銭的支援をしてく
れたので経済面は苦労せずに済み、このことは非常にありがたく、感謝しています。また卒業が遅れる場
合もあるので、交換留学が厳しい方は国際交流センターが定期的に行う短期の語学研修に参加してみて
はいかがでしょうか?コロナウイルスの感染状況にもよりますが、カナダやニュージーランドなどの研修が
あります。。これから英語圏での長期交換留学を計画している方は、必ずリスニング力をつけてから渡航し
てください。私の後に来た三重大の交換留学生も、渡航前にもっとリスニングカ(とスピーキングカ)をつけ
ておけばよかったと言っていました。リーディングカやライティングカももちろん大事ですが、これらは辞書
や文法書でいくらでもカバーできます。日常の中でネイティブスピーカーたちとおしゃべりするためにはか
なりのスピーキングカとリスニングカが必要です。ぜひ渡航前にこの2つの力を伸ばしてみてください。留
学生活がもっと豊かになると思います。渡航後は銀行口座解説、スマホのsimカード契約、ワクチン追加接
種やコロナ検査を電話で予約など全て自力で行いました。どれも英語でやることは初めてで緊張し手間取
ることもありましたが、今では「英語であんなことができたんだなぁ」という自信になりました。留学生活の中
で課題や滞在手続きなどで不安に陥ることもありました。ただそういった時には一人で抱え込まず周りの
友人や先生に相談してみてください。私は基本的にこういった事態は一人で切り抜けましたが、精神的に
疲れて体調を崩しそうになりました。法律を犯さない限りほとんどのことは大したことないので、何とかなる
さの姿勢で生活しましょう。最後に、私が交換留学の手続きをした時は相談できる先輩がおらず、現地に
着いた後も手探りで生活していました。そのために不必要なものを買ってしまったり無駄に時間を使うこと
もあったので、今後いつかUNCWへの交換留学を検討している方は気軽に私へ連絡をとってください。喜
んであなたの留学を支援させていただきます!

**報告書記入日** 2022年5月23日